



碧南ロータリークラブ週報

第2933回例会 令和元年11月13日(水)

- 会長 伊藤 正幸
- 幹事 黒田 泰弘
- 会場監督(SAA) 永坂 誠司

2019-2020 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



- 会報委員 鈴木きよみ・林 俊行・平松則行・石川鋼勇

●斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

(株)フェニックス 代表取締役社長 北郷謙二郎様

●本日の卓上花

モコモコ (バラ)、ストロベリーフィールド (センニチコウ)、ドラセナ・コンパクト

会 長 挨 拶

皆さん、こんにちは。朝晩の冷え込みと地区大会が開催されたホテルナゴヤキャッスルが乾燥しておりまして、ガラガラ声になってしまいました。お聞き苦しくて、誠に申し訳ございません。



伊藤正幸会長

先週は天皇皇后両陛下の御即位を祝います国民式典が皇居で開催されまして、嵐の「Ray of Water」で皇后陛下が涙ぐまれるお姿が映し出されまして、感激致しました。「Ray of Water」、光の光線、あるいは、水に反射する光の影と申しませうか、なぜ英語かなと思いましたが、でも、「Ray of Water」をローマ字で見ますと、レイが Ray、ウォーターが Wa で令和となるということだそうでございます。そして、祝賀パレードが日曜日に開催されまして、雲ひとつない秋晴れの祝賀御列の儀で、日本人で良かったなと思いました。新しい令和の時代が良い時代でありますようにと心から思った次第でございます。

本日は地区大会のご報告をさせていただきたいと思っております。日曜日の午前 8 時から午後 7

時まで、登録者数が約 2,600 名ということで、近年では最多の人数だったということでございますけれども、ご参加いただきました会員の皆様、最後までお付き合いいただきまして、ありがとうございます。メインの決議事項は例年の通りでございましたけれども、WFF に関する件ということで決議がございまして、返金はなしということでございました。そして、本年度 RI 会長代理は、2690 地区の岡山南クラブの佐藤パストガバナーでございまして、既にマローニー会長が来られた後に地区大会に代理として登場するのは躊躇するとのお話でしたけれども、RI の研修リーダーでサンディエゴでのガバナーエレクトの研修会で日本人指導者 3 名の内の 1 人だそうでございまして、伊藤ガバナーを指導されたということでございます。巧みな話術で RI の考え、そして、本年度の活動方針についてご説明をいただきました。2 点記憶に残ったことがございますので、ご披露させていただきます。1 点目は、ロータリーとは奉仕する人が集まったものがロータリーであるというようなことをお話しされました。そして、各クラブが独自に成長をしてくださいということでございました。2 点目は、世界を変える行動人、行動する一人一人の集合体がロータリー。そして、理念だけではなく、行動こそ価値があるということでございました。

次年度は知立 RC さんがホストでございまして、来年の 10 月 24 日の名鉄グランドホテルと 25 日のセントレアの愛知国際展示場ということでございます。愛知国際展示場は収容人数が最大 5,000 人ということですので、知立 RC さんは何か企んでいるんじゃないかなと邪推しております。

さて、明日は 3 クラブのゴルフコンペということになっております。今回も多くの皆様にエントリーしていただきまして、どうもありがとうございました。前回は鈴木並生さんのベスグロと団体優勝でございましたけれども、明日も皆様にご健闘されますことをお願い致します。挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第 5 回の理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 本日、赤い羽根共同募金の募金箱を回させていただいておりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
- ・ 例会変更のお知らせは、幹事報告書の通りでございます。
- ・ ポリオの寄付の件で、一般の方から 60,256 円のご寄付がございました。そして、お一人 30 ドルを合わせまして、274,096 円を寄付させていただきましたので、ご報告申し上げます。
- ・ 本日、植樹式が 14 時 30 分からございます。油ヶ淵の岡田組さんを越えてすぐのところを左に曲がった場所の宮下住宅でございます。駐車場は現地でご案内致しますので、多数ご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



黒田泰弘幹事

- ・ 次週、11月20日は定款第8条第1節Cによる休会となります。次回の例会は11月27日になりますので、お間違いのないようよろしくお願い申し上げます。

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 66 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 11 名) 出席者 53 名	
出席対象者 53/62 名	出席率 85.48%
欠席者 13 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

- 伊藤 正幸君 } 最多登録数となりました、地区大会も無事終了しました。会員の皆様に盛り上げて頂き、ありがとうございました。
- 杉浦 保子君 }
黒田 泰弘君 }
- 竹中 誠君 「2019年オイスカデー」が当商工会議所にて中山恭子先生をお迎えて盛会に終わることができました。大変多くの方々にお世話になりました。
- 梶川 光宏君 本日卓話講師を務めて頂きます、株式会社フェニックス 代表取締役社長 北郷謙二郎様を紹介させていただきます。

卓話

「フェニックスの取り組みについて」

(株)フェニックス 代表取締役社長 北郷謙二郎様



北郷謙二郎様

皆さん、こんにちは。先程、ご紹介に与りました株式会社フェニックス 代表取締役社長の北郷と申します。本日はこのような場にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。簡単ではございますが、フェニックスの取り組みについてお話しさせていただければと思います。

この中にバスケットボールの試合をご覧になられたことがある方は少ないかなと思いますので、我々がどういう感じでバスケットボールの試合を運営しているのかをまずは見ていただきたいと思います。

我々はバスケットボールクラブを運営している会社で、スポーツビジネスの中の1つの歯車かなと思っております。スポーツビジネスというものをしっかりと考えてみると、ものを売りたい人がスポーツに関わる何らかのものを商品にして、皆さんに買ってもらうことがスポーツビジネスの基本かなと思っております。その中でも取り巻く環境として、施設運営、イベント開催、グッズ販売、情報配信、チケット販売などがあります。我々はBリーグという組織の中の36クラブある中の1つのクラブ「三遠ネオフェニックス」という名前で活動を

しております。Bリーグは3年前に立ち上がりまして、今シーズンで4シーズン目を迎える若いプロスポーツリーグとなっております。

バスケットボールは全世界で見ると、競技者人口が1位です。全世界で4.5億人がバスケットボールプレーヤーとして活動していると言われております。国内においては、サッカーだと96万人、バスケットボールは63万人ということで、随分と差があるのですが、ここ数年の人口減少に伴って少子化が進んでおり、サッカーと野球は競技者人口が減っている中で、バスケットボールは増え続けております。

Bリーグが立ち上がったからのシーズン入場者数は、初年度は161万人、昨シーズンは290万人、今シーズンは今現在で250万人となっております。

スポーツビジネスの中で4大収入源と言われているものがあります。これはどのスポーツにおいても同じことが言えます。チケット収入、スポンサー収入、放映権、グッズ販売や飲食の4つですが、根源となるのはチケット収入です。お客さんがたくさん来ていただくことで価値が上がって、テレビの放映権も高くなる。お客さんがいっぱい集まるということでメディアとしての価値が上がるので、スポンサーシップも高くなる。チケットがいっぱい売れることでお客さんが来てくれることによってグッズも買っていただけますし、飲食もしていただけます。ということで、4大収入源とあるのですが、根底にあるのは集客をすることに尽きます。特にクラブの価値を高めることが我々のスポーツビジネスを拡大させる1番の要素になります。

私は社長に就任して2年目なんですけれども、思い起こして、そもそもスポーツとはなんだろうということから考え直しました。スポーツとは、「一定のルールに則って勝敗を競ったり、楽しみを求めたりする身体運動の総称である。」と辞典には書いてありますが、スポーツの持つ意義・効果は、

1. 青少年の健全育成
2. 地域コミュニティの醸成
3. 経済発展への寄与
4. 多様な交流機会の創出（国・世代を超えた交流）

になります。

スポーツと聞くと私はするものという意識が非常に強かったのですが、三遠ネオフェニックスに入ってから、観るものというのを凄く実感しております。スポンサーの方やファンクラブの方が試合に観戦に来ていただいて、喜んでいただく姿を間近で見て、観る楽しみも大きいんだなと感じております。スポンサーの方やファンクラブの方に本当に支えてもらっているという実感があります。

フェニックスの取り組みとしては、活動理念として「三遠地域を笑顔で活力ある街に！」ということで、バスケットボールを中心に自治体、スポンサー、株主の皆様、取引先、メディアの方々、他の競技団体の方々、ファンの方々と共に取り組みを進めております。1番やりたいことは、スポーツエンターテイメントの追求になります。光を使った演出がありまして、屋外スポーツではなかなかできないのですが、バスケットボールは屋内なので、一度来ていただいたらわかりますけども、コンサートみたいな感じで観戦ができます。また、我々の本

業であるバスケットボールの中で、オリンピック選手を輩出したいと思っております。

最後になりますが、今シーズンの試合日程になります。碧南からだ少し遠いかもしれませんが、23号で行けばスッと行けると思いますので、もし観戦したい方がいらっしゃいましたら、私にご連絡いただければご招待させていただきますので、是非、バスケットボールを楽しんでいただけたらと思います。

本日はありがとうございました。

環境緑化整備事業 碧南市営宮下住宅敷地内 植樹式



次回例会案内

令和元年12月4日(水) 年次総会 次年度理事役員選挙